

「東京歯科大学千葉歯科医療センター医療連携講演会」開催のご案内

謹啓

立夏の候、ますますご清祥の段お喜び申し上げます。平素は当センターとの医療連携に多大なるご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本年も「東京歯科大学千葉歯科医療センター医療連携講演会」を開催することとなりました。昨年同様、テーマは千葉県歯科医師会及び近隣歯科医師会代表の先生方からのご意見を頂戴し、「高齢者の歯科治療を考える」に決定しました。

先生方におかれましては、ご多忙中のこととは存じますが、お知り合いの先生もお誘い合わせの上、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

謹白

平成30年5月吉日

東京歯科大学千葉歯科医療センター
センター長 一戸達也
医療連携委員長 柴原孝彦

記

日時・場所：平成30年7月5日（木） 受付 14:30～15:00

講演会 15:00～18:00

【会場】東京歯科大学 実習講義棟3階 歯科臨床研修医室

※ 演者・スタッフの服装につきましては、クールビズとさせていただきます。

※ 会場案内図は別紙 参加申し込み用紙(FAX用紙)の裏面にございます。

協力：千葉県歯科医師会 千葉市歯科医師会 習志野市歯科医師会 印旛郡市歯科医師会
市原市歯科医師会 八千代市歯科医師会 船橋歯科医師会 江戸川区歯科医師会

会費：無料 ※ 軽食のご用意がございます。

症例相談：症例相談コーナーを設けています。症例相談をご希望の先生は、別紙 参加申し込み用紙 下覧に相談内容をご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。ご相談の対応は当センター医療連携委員が担当いたします。当日は、資料（口腔内写真、X線写真、口腔模型等）をご持参下さい。なお、相談希望が多数の場合は、十分な対応ができないこともございますので、予めご了承下さいますようお願い申し上げます。

申込方法：誠にお手数ではございますが、準備の都合上、別紙 参加申し込み用紙にご芳名等をご記入の上、6月30日（土）までにFAXにてお申し込みの程お願い申し上げます。
※準備の都合上事前のお申し込みをお願いしておりますが、当日のご参加も受付けております。

〈問い合わせ先〉東京歯科大学千葉歯科医療センター 医療連携室

TEL 043-270-3279/FAX 043-279-2046

本講演会は公益社団法人日本歯科医師会生涯研修事業の単位認定となります。

「高齢者の歯科治療を考える」

第1部 座長：専門歯科系(摂食嚥下リハビリテーション科) 准教授 杉山 哲也 15：10～16：10

1. 高齢者の全身状態の評価 15：10～15：40

演者：口腔外科系(歯科麻酔科)

講師 松木 由起子

高齢者への安全な歯科治療を提供する上で、全身状態の評価は大変重要である。高齢者特有の加齢変化に加え、様々な全身疾患による病態の変化がそれに加わる。さらに、疾患の多様化による様々な薬剤の処方により、相互作用も懸念される。また、在宅か介護施設へ入所しているか、独居か介護者がいるかどうかによっても対応が異なることも多い。

そこで、高齢者の加齢変化の特徴、全身疾患の概要、それによる全身状態の評価方法についてまとめる。また薬剤については歯科で処方、使用される薬剤と特に相互作用のあるものを中心に供覧したい。

2. 認知症高齢者の治療のゴールとは 15：40～16：10

演者：専門歯科系(摂食嚥下リハビリテーション科) 准教授 杉山 哲也

認知症の人は2025年には700万人に達するともいわれている。国が発表した新オレンジプランでは歯科医師の認知症対応力向上が求められ、地域の歯科医師会でも認知症に関する研修会が行われている。しかし研修を受けることによって、認知症を受け入れなければならない時代の背景や、認知症に関する一般的な知識は得られても、様々な病態を呈する認知症患者の治療をすんなりで行えるものではない。特に拒否の強い患者に対しては、全く手を付けられないということもあるのではと思われる。本講演では認知症患者の特徴について整理し、歯科治療のゴールとは何かについて考えてみたい。

——— 休 憩（10 分間） ———

16：10～16：20

第2部 座長：一般歯科系(補綴科)(老年歯科補綴学講座) 准教授 石崎 憲 16：20～18：00

1. 高齢期における口腔機能低下症について 16：20～17：20

演者：老年歯科補綴学講座

教授 櫻井 薫

国はフレイル予防に力を入れている。その様な状況下でオーラルフレイルという言葉が誕生した。口腔機能がやや低下してきたというあたりが、オーラルフレイルということになり、これは疾病ではなく状態を表す。一方でこれが疾病レベルになると、日本老年歯科医学会が提唱し、4月の改定で新たな病名として認められた「口腔機能低下症：口腔衛生状態不良、口腔乾燥、咬合力低下、舌口唇運動機能低下、低舌圧、咀嚼機能低下、嚥下機能低下のうち、3項目以上該当する場合」となる。今回はこのいくつかの複合要因によって現れる口腔機能低下症について解説する。

2. 高齢者へのインプラント治療 17：20～18：00

演者：専門歯科系(口腔インプラント科)

臨床教授 武田 孝之

高齢者におけるインプラント治療のリスクは大きく二つある。一つは治療時の全身的状况から生じるもの、言い換えれば外科処置を行う上でのリスクであり、避けることができる。一方、インプラント治療後経過年数を重ねることによって生じる全身的变化から起こるリスクがある。これは治療後全ての患者に起こりうるものであり、避けることができない。それゆえ、治療時に起こりうるリスクと対応法を整理し、治療時の患者年齢(健康年齢)によっては治療前から患者に説明し、準備しておく必要がある。今回は現在、考えられる問題点と対応法を報告する。

FAX : 043-279-2046

東京歯科大学千葉歯科医療センター医療連携講演会 参加申し込み用紙

平成30年7月5日(木) 受付 14:30~15:00

講演会 15:00~18:00

【会場】東京歯科大学 実習講義棟3階 歯科臨床研修医室

申込日：平成30年 月 日

ふりがな

施設名： _____

ふりがな

ご芳名： _____

〒

ご住所： _____

TEL : _____ () _____

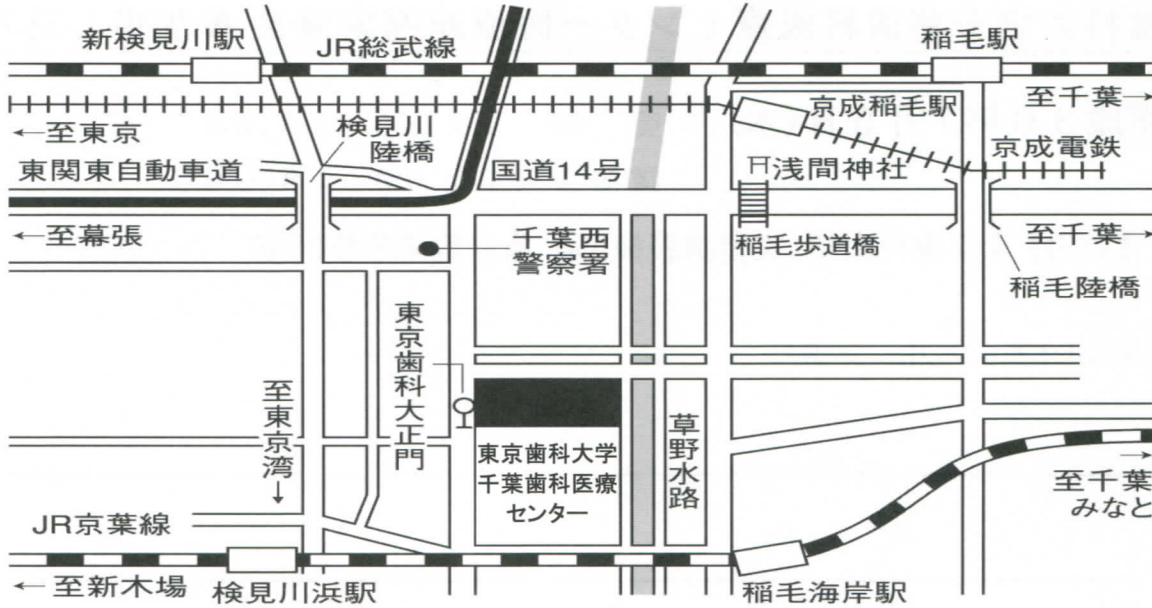
FAX : _____ () _____

ふりがな

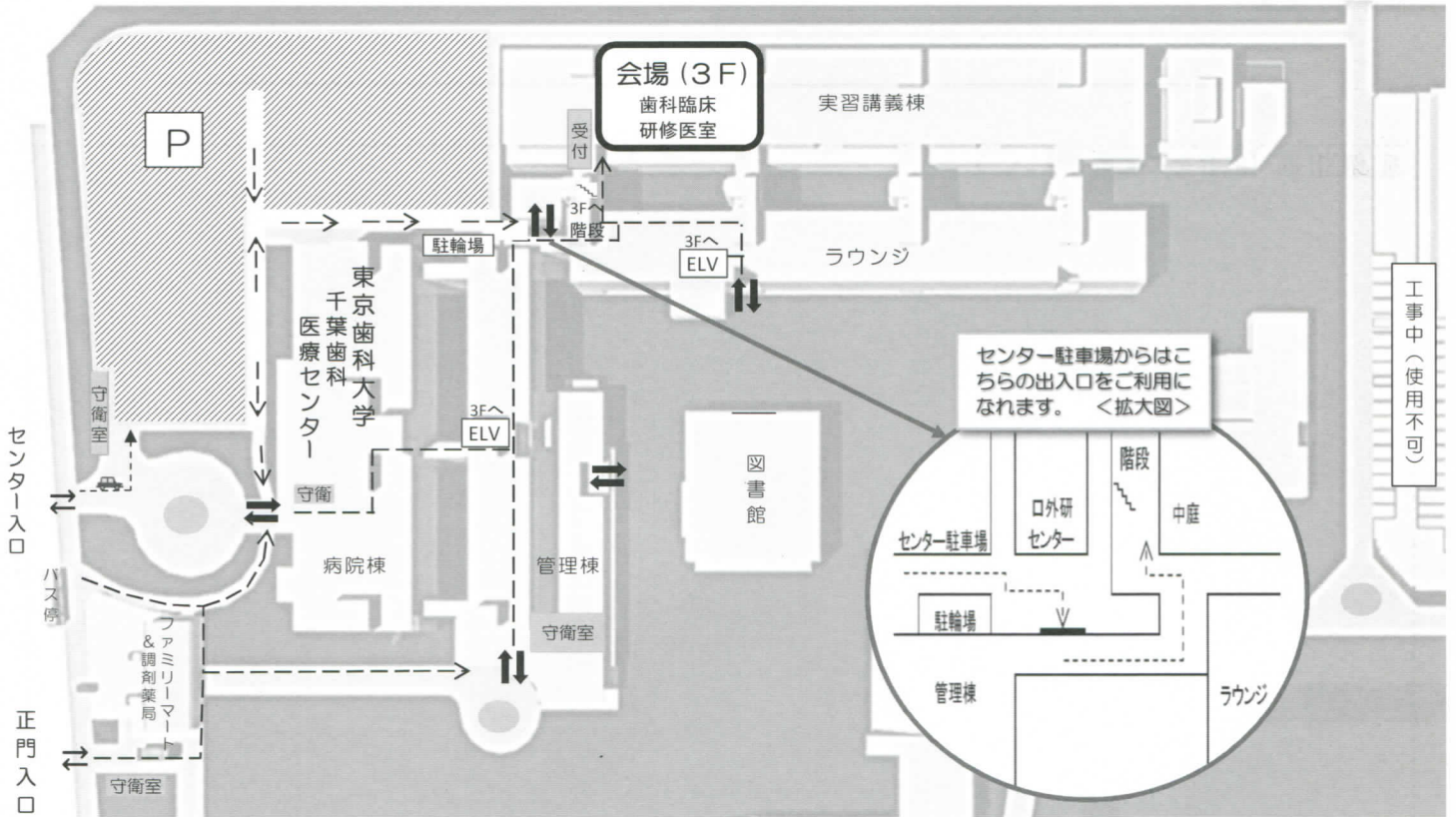
同僚者ご芳名： _____

症例相談 (内容をご記載下さい。)

東京歯科大学千葉歯科医療センター周辺図



【会場案内図】 実習講義棟 3 F 歯科臨床研修医室



⇄ 施設出入口

→ 誘導線

ELV エレベーター

※ 駐車場台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関等をご利用下さいますようお願い申し上げます。

※ 駐車場はセンター駐車場のみとなっております。（職員大駐車場は工事中のため使用不可です。）